

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR211A
採択年度	: 2021年度
分野	: 第1分野
研究開発課題名	: 屋外での遠距離、高解像度 3D センシングを可能とするスマートスキャン ソリッドステート LiDAR カメラ開発
プロジェクトリーダー 所属機関	: 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
研究責任者	: 川人 祥二(静岡大学)

評価結果の総合所見

本課題は、室内外の構造や障害物の形状を計測する3D センシング用スマートイメージセンサと新規スキャン光源(面発光レーザ)を搭載した LiDAR カメラを開発し、屋外での長距離/高解像度測距を可能とし、ドローンや無人搬送車への導入を目指すものである。

目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。当初計画の一部が変更されたが、最終的には当初目標をすべてクリアできている。学術成果も多く、LiDAR としての個々の性能も競合技術と比べて高い点は評価できる。今後の取り組み次第ではイノベーション創出の可能性はある。

今後は、企業が迅速に市場調査を行い、本 LiDAR カメラに最適な用途を見つけ、早期に市場参入することを期待する。

以上